



新体制でスタートした田子町議会

田子町 議会だより

2015



目次

定例会のあらまし	2
3月定例会 議案審議の結果	3
6月定例会 議案審議の結果	5
一般質問 (3月定例会)	6
一般質問 (6月定例会)	8
議会活動報告	13

第83・84合併号

平成27年8月5日発行

青森県田子町議会

定例会のあらまし

3月定例会

3月定例会は3月4日から10日までの7日間の会期で開催されました。

初日の本会議では、

山本町長が平成27年度施政方針の説明を述べた後、議案の上程があり、条例改正や補正予算案など議案14件、条例改正や補正予算案、平成27年度一般会計予算など議案30件の提案理由の説明がありました。

5日の一般質問には1人の議員が、施政方針に対する質問には2人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。その後、平成27年度予算を除く議案20件について審議しました。

6日から10日にかけて予算特別委員会が行われ、認定すべきものと決しました。

6月定例会

6月定例会は6月15日から17日までの3日間の会期で開催されました。

初日の本会議では、

山本町長から議案の上程があり、条例改正や補正予算案など議案14件の提案理由の説明がありました。

16日の一般質問には5人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。

17日には上程された議案の審議が行われ、すべて原案のとおり可決となりました。

第1回臨時会

開催日 6月1日

4月26日に行われた、田子町議会議員一般選挙に伴い、新しく議長、副議長、各常任委員長及び委員会の構成員を決めました。主な委員会等は次のとおりです。

議長 澤口 勝
副議長 宇藤 大介

議席番号

1番	宇藤 大介
2番	蹴揚 清人
3番	日沢 一雄
4番	椀本 義見
5番	尾形 憲男
6番	宮村 尚哉
7番	沢口 博二
8番	欠端 則夫
9番	山崎 美代志
10番	澤口 勝

○常任委員会

総務・文教常任委員会
委員長 尾形 憲男
副委員長 宮村 尚哉
委員 宇藤 大介
椀本 義見
澤口 勝

産業・民生常任委員会
委員長 沢口 博二
副委員長 日沢 一雄
委員 蹴揚 清人
欠端 則夫
山崎 美代志

○議会運営委員会

(議会広報編集委員会)
委員長 宮村 尚哉
副委員長 宇藤 大介
委員 日沢 一雄
尾形 憲男
沢口 博二

○八戸広域市町村圏

事務組合議会議員
沢口 博二

○三戸地区環境整備

事務組合議員
蹴揚 清人
尾形 憲男
宮村 尚哉

○三戸地区塵芥処理

事務組合議員
蹴揚 清人
宇藤 大介
欠端 則夫

○田子高原広域

事務組合議会議員
椀本 義見
山崎 美代志

○三戸市・田子町

道路組合議員
澤口 勝
蹴揚 清人
宇藤 大介
椀本 義見
宮村 尚哉

○田子町消防委員会委員

日沢 一雄
尾形 憲男
沢口 博二

○三戸町及び田子町

教育研究協議会
澤口 勝
尾形 憲男

○監査委員

日沢 一雄

審議結果

【3月定例会】

各会計の次年度の当初予算や条例改正など、
30件の議案が提出され、審議しました。
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第1号	平成27年度田子町一般会計予算 歳入歳出予算総額 44億6300万円 【新規事業】フェザン通り街路灯整備事業、天神堂小沼線舗装補修事業、除雪車両購入事業（ドーザー）など	可決
議案第2号	平成27年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計予算 歳入歳出予算総額 11億9700万円 国民健康保険に関わる一般被保険者及び退職被保険者に係る保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金及び協働事業拠出金等に係る予算。	可決
議案第3号	平成27年度田子町後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出予算総額 6650万円 後期高齢者医療制度に関わる医療費などの広域連合への納付金等。	可決
議案第4号	平成27年度田子町介護保険事業勘定特別会計予算 歳入歳出予算総額 10億2800万円 介護保険制度に基づく、居宅及び施設介護サービス給付費等に係る予算。	可決
議案第5号	平成27年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計予算 歳入歳出予算総額 5億8200万円 診療所、介護老人保健施設及び訪問看護ステーションの運営にかかる経費。	可決
議案第6号	平成27年度田子町水道事業特別会計予算 歳出予算総額 3億2064万7千円	可決
議案第7号	田子町集会施設等に係る指定管理者の指定 指定管理者となる団体：各自治会等 指定の期間：平成27年4月1日～平成30年3月31日（3年）	可決
議案第8号	田子町老人福祉センターに係る指定管理者の指定 指定管理者となる団体：社会福祉法人田子町社会福祉協議会 指定の期間：平成27年4月1日～平成30年3月31日（3年）	可決
議案第9号	田子町ガーリックセンターに係る指定管理者の指定 指定管理者となる団体：一般財団法人田子町にんにく国際交流協会 指定の期間：平成27年4月1日～平成30年3月31日（3年）	可決
議案第10号	職員の給与に関する条例等の一部改正	可決
議案第11号	田子町行政手続条例の一部改正	可決
議案第12号	田子町乳幼児医療費給付条例の一部改正	可決

議案 第13号	田子町道路占用料等徴収条例の一部改正	可決
議案 第14号	田子町介護保険条例の一部改正	可決
議案 第15号	教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例の制定	可決
議案 第16号	地方教育行政法の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定	可決
議案 第17号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合同約の変更	可決
議案 第18号	三戸地区塵芥処理事務組合の解散	可決
議案 第19号	三戸地区塵芥処理事務組合の解散に伴う財産処分	可決
議案 第20号	三戸地区環境整備事務組合同約の一部を変更する規約	可決
議案 第21号	平成26年度田子町一般会計補正予算（第7号） 再生可能エネルギー等導入事業の減額、町道整備事業の減額、役場庁舎修繕事業の減額 など	可決
議案 第22号	平成26年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号） 保険財政共同安定化事業及び高額医療費共同事業の拠出金の減額 など	可決
議案 第23号	平成26年度田子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 後期高齢者医療広域連合納付金の増額に伴うもの など	可決
議案 第24号	平成26年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第4号） 地域密着型介護サービス給付費の増額	可決
議案 第25号	平成26年度田子町介護サービス事業勘定特別会計補正予算（第2号） 車両修繕料の減額	可決
議案 第26号	平成26年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第4号） 診療所の診療報酬等の減額	可決
議案 第27号	平成26年度田子町水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案 第28号	平成26年度田子町一般会計補正予算（第8号） 国の経済対策に伴う地域住民生活等緊急支援交付金事業についての補正。	可決
議案 第29号	田子町教育委員会委員の任命 現在委員の市村一幸氏の任期が満了となるため、市村氏の再任について議会の同意をお願いするもの。	同意
議案 第30号	田子町教育委員会委員の任命 現在委員の田沼義行氏の任期が満了となるため、一戸宗雄氏の就任について議会の同意をお願いするもの。	同意

審議結果

【6月定例会】

報告2件と補正予算や条例改正など、
12件の議案が提出され、審議しました。
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
報告第5号	一般財団法人田子町にんにく国際交流協会平成27年度事業計画並びに平成26年度事業報告及び決算	報告のみ
報告第6号	公益財団法人にんにくネットワーク平成27年度事業計画並びに平成26年度事業報告及び決算	報告のみ
議案第32号	田子町消防委員会委員の承認	承認
議案第33号	田子町集会施設等に係る指定管理者の指定の一部変更 【変更前】 石亀地区コミュニティ推進協議会 【変更後】 石亀地区自治会	可決
議案第34号	田子町過疎地域自立促進計画の変更 フェザン通り街路灯整備事業の実施に伴うもの	可決
議案第35号	田子町介護保険条例の一部改正 第1号被保険者の保険料を軽減するもの	可決
議案第36号	田子町訪問看護ステーション設置及び管理に関する条例の一部改正 労働者災害補償保険適用の利用者へサービスを提供するもの	可決
議案第37号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合同規約の変更	可決
議案第38号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合同規約の変更	可決
議案第39号	平成27年度田子町一般会計補正予算（第1号） 歳入歳出の総額から6286万3千円を減額 【主な要因】 診療所・老健特別会計操出金（診療所分）の減額、中学校グラウンド改修工事分の減額	可決
議案第40号	平成27年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出の総額から3011万円を減額 【主な要因】 指定医療機関に対する支払い分の減額	可決
議案第41号	平成27年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出の総額から109万3千円を減額 【主な要因】 4月の人事異動に伴う人件費の減額	可決
議案第42号	平成27年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出の総額から41万6千円を減額 【主な要因】 4月の人事異動に伴う人件費の減額	可決
議案第43号	平成27年度田子町水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決

3月定例会 一般質問

一般質問とは、町村の重要な意志を決定し、住民に代わって行財政の運営を監視する権能を有する議員が執行機関の所信や疑義をただすため、固有の権限として与えられているものである。



議員 大介 藤 宇 6番

いきいきと健やかに暮らせるまちへ

【質問1】

平成27年度は町をあげて健康宣言をし、町民の健康意識を高めたことの事だが、今後、対応を苦慮される超高齢化社会に対する抜本的な取り組みと、健康ポイント事業なる構想の概要、今後の展望を伺う。

【町長答弁】

高齢者の方を含め、地域の皆様が安心して暮らすためには、各種の在宅サービスを充実させる事も必要だが、健康寿命の延伸が最も大切だと考えている。そのために町では検診や健康教室、介護予防事業等を通じて町民皆様の健康増進に取り組んでいく。次に健康宣

言の経緯として、県は「短命県返上」を掲げており、当町においても市町村平均寿命全国ワースト30位という現状を踏まえ、健康宣言により、町民の健康に対する意識向上を図る目的として掲げたもの。健康ポイント事業は、健康に関する事業参加のポイントの付与により、健康に関心を持っていたいただき、検診等の受診率の向上や、生活習慣改善を目的に実施するもの。内容としては、カードを作成し、町が実施する特定健診や相談、指導を受けた方、健康等に関する講座や健康教室、健康ウォーキング等に参加した方にポイントを付与し、ある一定のポイント達成者に特典を与えるというもの。新規事業のため、今年度は事業を実施、検証しながら徐々に拡充していきたいと考えている。

住民と行政で進める協働のまちへ

【質問1】

今日、職員の人材育成の観点から役場庁舎内の職員による総合案内が実施されているが、その効果と検証、資質向上における意義、この手法に至った経緯、新年度からの取り組みについて伺う。

【町長答弁】

取り組みを始めた経緯として、昨年から職員による「あいさつ運動」や「コミュニケーション強化」等の取り組みを実施した結果、町民や来客者への接遇サービス向上と業務遂

豊かな心と生きる力を育むまちへ

【施政方針に対する質問】

新規事業の60歳以上高齢者の健康増進と所得向上を目的とする地域力創造事業とは、具体的な事業内容を示せ。

【町長答弁】

「地域力創造事業」は、特に人口比率も多く、知識力や経験も豊富な60歳以上の高齢者が健康で暮らし、所得を得て豊かに生活できる環境づくりを目的として

事業化したもの。27年度は計画作りから始め、検証し最適な事業と判断できるものから予算化し実行する。また、人材育成を主としながら取り組んでいる美人華プロジェクトや、経営マーケティングセミナーとの連携も視野に入れながら、平成27年度は生きがい、やりがい、健康、所得をキーワードとして計画し、実施可能な事業から着手していく。

【町長答弁】

高齢者の方を含め、地域の皆様が安心して暮らすためには、各種の在宅サービスを充実させる事も必要だが、健康寿命の延伸が最も大切だと考えている。そのために町では検診や健康教室、介護予防事業等を通じて町民皆様の健康増進に取り組んでいく。次に健康宣

【町長答弁】

取り組みを始めた経緯として、昨年から職員による「あいさつ運動」や「コミュニケーション強化」等の取り組みを実施した結果、町民や来客者への接遇サービス向上と業務遂

業の円滑化は、職員からの「あいさつ」が必須であると再認識し、職員からの発案で事務職員はほぼ全員が交替で総合案内に取り組んでいる。また、朝礼やミーティングの場で、毎日のように発声練習を行い、「あいさつ力」のアップと併せて総合案内を行うことで、対応力の向上、各部門間の横断的なつながりや、相互理解を意識させ、町民皆様が利用しやすい役場として、サービス向上につながると考えている。こういった取り組みは、すぐに理想の形として目に見えるものとはならないが、随時、来町者の意見を拝聴し、本年度まで実施する予定だ。



9 番 沢口博二 議員

【一般質問】

診療所の運営

【質問1】 医師の確保・運営につき、県との協議は。

【町長答弁】 平成24年3月から、派遣医師1名、町独自に医師1名を採用し、2名体制で運営してきました。その中で、今年2月に県担当部局からの説明があったが、派遣は明確に示されなかった。これを踏まえ、知事に派遣要望を強く行い、1名の確保にこぎつけた次第である。

【質問2】

今後の医師の確保、

運営につき、どのような体制を作っていくか。

【町長答弁】

常勤医師の確保が必要不可欠と考えており、引き続き県の指導をいただきながらも、町独自の医師確保に取り組んで参りたい。

【質問3】

県の示す地域ブロック医療体制に、どのように関わるか。

【町長答弁】

県では、少ない医療資源を有効に活用できるように、地域の連携医療を考えてほしいとのこと。町としても、県、三戸町と方向性、あり

方につき、十分に協議して参りたい。

フェザン通りの街灯整備

【質問1】

このような状況（撤去）に至った経緯を説明してもらいたい。

【町長答弁】

街灯は「フェザン通り商店会」が自主的に管理していたが、会員数の減少と、老朽化による倒壊の危険性が高くなってきたため、撤去したいとの知らせが8月下旬にあり、8月末には撤去された。町は9月4日、5日に計6基の防犯灯を緊急に整備した。

【質問2】

現状は、どういう方向に進んでいるのか。

【町長答弁】

27年度予算で新たな街灯設置を予定している。目的は地域活性化で、関係自治会、商工

会、国際交流協会等と具体的施策、活用方法を協議している。

【質問3】

それについての問題点は何か。

【町長答弁】

地域活性化が大きな目的であり、今後の施策の持続的な実施が課題と認識している。

某量販店の出店

【質問1】

町として、この出店につき、どのように捉えているのか。

【町長答弁】

新たな雇用、消費者への有益性、その反面として、雇用喪失、商店街の空洞化等が懸念される。

【質問2】

商工関係者は、それにつき、どうなのか。

【町長答弁】

町、商工関係者共に、具体的な内容は把握できない状況であり、今後、何らかの話し合いの場を持つことが必要と考えている。

【質問3】

共存共栄の方策はないのか。

【町長答弁】

能力の均衡をはかるべく、産業戦略軍師によるセミナーを開催し、競争力の向上が図られるよう支援する。

職業訓練校の利用

【質問1】

具体的な予定は。

【町長答弁】

耐震性の問題もあり、撤去、土地整備の方向で考えている。

【質問2】

改修等して、町民に開放し、多目的な施設としてはどうか。

【町長答弁】

具体的な利用の希望、需要があれば改修の検討もあろうかと思うが、耐震性、老朽化の問題もあり、現在は、撤去、跡地利用の方向で検討したい。

【施政方針への質問】

各種事業の遂行

【質問1】

総括・検証を行って

いるのか。

【町長答弁】

P D C Aサイクル方式を用いて事業の成果、実績を評価している。第6次総合計画では「数値目標」を設定する予定である。

【質問2】

結果を議会、町民に公開してもらいたい。

【町長答弁】

「まちの仕事帳」で予算の使い道を説明している。総括・検証の結果は検討し公表したい。

6月定例会 一般質問



5番 尾形憲男 議員

子育て定住移住支援

支援策に不公平感を感じる。特に、「入学祝い金支給事業」、「奨学助成事業」など。内容の再検討が必要では。

【町長答弁】

子育て支援については、義務教育である中学生までを支援・応援していきたい。町として田子高校存続を強く要望・支援しているため、田子高校に入学する田子町の生徒に対する支援を上乘せしている。

1人月額1万5千円である。

中高一貫教育

はいけない。

についても緩やかになつている現在、私立中学校の場合はやむを得ない。

校卒業と入学時にお祝い金として支給し、子育てに対する経済的な支援とするもの。

また、子ども医療費助成事業は、中学校までの子どもについて、町内外の医療機関及び入院外来を問わず、それらに要した医療費を全額助成するもの。田子高校支援のため、田子高校の生徒に限って子ども医療費助成事業の対象としている。

【教育課長答弁】

奨学資金について、平成22年度から平成27年度まで、延べ49名が奨学資金を利用して、4年生大学及び短期大学、専門学校、高等学校が対象で、大学等は1人月額3万円、高等学校は1人月額1万円。田子高校支援策として、田子高校生は

【質問2】

子育て支援と高校存続は別だ。教育には節目目に出費がある。なぜ高校の入学金は田子高校だけなのか。町外に行った高校1年生に支給した場合、いくら予算が増えるか。

【住民課長答弁】

およそ2百万円の増となる。

【質問3】

これにより不公平感が生じる。町長は若者に田子に戻ってこいと言うが、同様に支給する考えはあるか。

【町長答弁】

子どもたちに対する均等な機会と支援ということについて確かにあるが、目標がある人はどこでもいいから頑張つてほしい。そうでない方々に対しては、教育の機会が失われて

【質問1】

昨年度、田子中学校卒業生40名中、田子高校進学者16名の現状についての認識と今後の対応について。

【町長答弁】

町内で高等教育を受けられること、増大し続ける教育関連費用の負担を高校までは小さくし、その上で目指す専門知識や技術習得に移行できるような環境づくりを行う。

【教育課長答弁】

進学者が少なく非常に残念に思っている。

【質問2】

中学校進学時の対応や、町としての教育、人材育成を伺う。

【教育課長答弁】

田子の子どもは田子で育てたいという思いがあるが、区域外通学

【質問3】

地域にとつてなくてはならない学校、生徒にとつてなくてはならない学校として、中高一貫の力を発揮し、田子中学校を選んでもらい、田子高校を選んでもらうにはどのように進めていくのか。

【町長答弁】

次代の子どもたちの教育環境を考える懇話会で議論し進めていく。

【教育課長答弁】

良い教育を一言で言えば、その子に合った教育となる。小学校の段階だと、自分では判断はできかねる。親御さんの方で、子どもさんをよく見てそのところを判断していただくしかない。小さい学校なりの良さを分かっていたいただきたい。



1 番 宇 藤 大 介 議員

我が町の子供たちへの教育環境及び、
就学援助の現状について

【質問1】

今日までの中高一貫における成果と、今後の課題を明確に示せ。

【教育長答弁】

成果として5点、課題として4点を挙げる。成果の1点目は、教員、生徒も含め、会議を主とするそれぞれの学校文化、指導の考え方、仕方を理解する一助となる交流の展開。2点目に中学校での乗り入れ授業、習熟度別授業実施による個々の能力に応じた指導の徹底。3点目は県内唯一の連携型実施校であるがゆえ、他の同規模校より

教員を多く配置し、生徒の多様なニーズに対応できる。4点目に、郷土芸能部の全国の舞台での活躍による後進の生徒たちへの羨望と夢、目標の確立。5点目として、他校生との異なる生徒の成長、高い丁寧な指導が挙げられる。課題の1点目は、中高一貫教育導入当初の理念の埋没化、希薄化。2点目は、田子中からの入学者の確保。3点目に、基礎学力、学習意欲の低下。4点目として、中学校3年時における受験指導の苦慮

が挙げられる。しかし、連携型入試での郷土についてのプレゼンテーションは、総合力が必要であり、テーマを設定し、調査、研究、総括し発表と、生徒のスキルの向上に非常に役立つっており、現に大学等の入試での面接、さらには、入学後の研究発表等で活かされ、高い評価を受けている。

以上、中高一貫教育研究協議会で示された内容を基に、私自身の所見を述べさせていだいた。

【質問2】

昨今の町外中学校への子どもたちの進学状況の動向と、その保護者の意向調査、課題の精査、対応協議が急務と考えるが、教育委員会としての見解は。

【教育長答弁】

田子の子どもは田子で育てたいとの思いも

あるが、区域外通学についても緩やかになつていくことであるが、やむを得ないと考えている。各家庭で高校進学、卒業後の事、それに係る経費、諸々の状況を考慮し、十分に話し合った結果、その子にとってより良い環境、伸ばせる環境と考えて決めていると想定し、「保護者の意向調査」については現時点では考えていない。今後も教育環境の整備に努め、子どもたちには田子ならではの体験活動や行事を通して、学校生活

あるが、区域外通学についても緩やかになつていくことであるが、やむを得ないと考えている。各家庭で高校進学、卒業後の事、それに係る経費、諸々の状況を考慮し、十分に話し合った結果、その子にとってより良い環境、伸ばせる環境と考えて決めていると想定し、「保護者の意向調査」については現時点では考えていない。今後も教育環境の整備に努め、子どもたちには田子ならではの体験活動や行事を通して、学校生活

を謳歌し、目標・夢に向かった礎を築いて欲しいと願う。

【質問3】

町の就学支援事業は、近年になく保護者負担を軽減し、子育て支援に特化した非常に素晴らしいものと考えているが、公平性、平等性に欠けるものが散見される。

(入学祝い金制度・医療費助成制度等) 保護者が我が町で就労し、納税していただいている観点から他市町村への高校進学に対しても同等の助成、医療費に對しても同様に対応すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

【町長答弁】

子育て支援については、その対応、狙いは義務教育である中学校までの子どもと考えている。そして田子高校については、町としてその存続について強く



田子中学校体育祭

職場体験学習(田子中)





8番 欠端則夫 議員

田子牛確保増頭

○肥育牛導入基準

【質問1】

田子牛の肥育素牛として、保留の支援の文書の中に、D G 1・00以上という数字があった。田子牛は、肉質がA 4、A 5である。平成27年5月、青森県子牛市場の成績を見ると、牝では第一花国、第二花国、優福栄、光茂といった県有牛は、全部1・0には届いていない。せめて0・8ぐらいでどうか。牛肉が足りなくなるのは目に見えている。早めに大胆な手を打っていただきたい。

【町長答弁】

「田子牛」として販売するための格付けが、A 5 A 4以上というのは現在も変わらない。事業基準である「概ねD G 1・00以上」とした理由は、仙台食肉市場で1年間に出荷されたすべての肉用牛約4千頭を対象に、「格付け」と「体重」、「販売単価」の相関関係を調査したところ、体重があるほど格付けと単価が高くなるという比例関係が見られたため。次に、盛岡種雄牛セクターの場長を招いての講習会で、将来高く

売れる肥育牛の目標では「概ねD G 1・00」と示され、八戸農協や三戸畜農協とも協議を行い実施に至った。しかし、以上のような理論が100%正しいとは言えない事も認識しているため、事業では「概ね」1・00と表記している。

○牛舎増設

【質問1】

肥育牛をおく気があっても子牛生産用の牛舎であり、空き牛舎がない人がいる。牛舎増設に対する考えは。

【町長答弁】

肥育にチャレンジしたい若い畜産農家も多いことから、畜舎が手狭であることは認識している。町有林の間伐事業で出た間伐材を活用できないか、また、パイプハウス導入の可能性についても考えた。さらには、経営基盤

強化資金（通称・L資金）などの方法もある。利用する際にはご相談いただきたい。

【質問2】

若者たちがやる気のあるうちに、牛舎の件を進めていただきたい。もう少し前向きな回答を。

【町長答弁】

第1次産業を基幹産業とする我が町にとって、たいへん大事な要素だと考えている。少し時間をいただきながら、希望を持って仕事をしていただけのように頑張っていきたい。

道路関係

○生活道の整備

【質問1】

生活道路の中に、アスファルト道路まで数百メートルかかるお宅もある。公平な生活のために考えてほしい。また、水源地等へのア

クセスを良くしてほしい。

【町長答弁】

町としても毎年町道や生活道路の整備を実施しているが、すぐには要望に添えないでいる。路線の現状、緊急度などを総合的に勘案しながら取り組んでいる。なお、山間地の砂利道は随時保守での対応になる。

○橋の修理

【質問1】

原地区にある橋が壊れたまま通行できない。この橋をどう考えているか。

【町長答弁】

林ノ渡橋のことだと思われる。復旧には多額の事業費を必要とする。地元との協議も踏まえ、今年度中には方針を決定したい。

○道路の補修

【質問1】

道路補修の砂利をス

トックできないか。

【町長答弁】

私道で個人利用箇所を除き、事前にお知らせいただければ提供する。

田子町の文化財

【質問1】

出土品で価値のあるものはどれほどあるか。

【町長答弁】

国選択・選定文化財2件。県の指定6件。町の指定37件がある。出土品は指定されていない。

【質問2】

文化財情報があった場合、調査等は。

【町長答弁】

文化財担当職員が対応する。

【提言】

文化財の情報を持っているので、後ほどお伝えしたい。



7 番 沢口博二 議員

米価問題

【質問1】 種もみの助成は、現在どのような進められているのか。

【町長答弁】 生産者の皆様から、5月末までに平成27年度の水田活用の計画書の提出をいただいている。その集計を行い、6月8日に交付決定通知、6月15日に支払いを行う事になっている。また、計画書の提出のない生産者には、再度、提出依頼をし、該当者には交付をしていく予定である。

【質問2】 今後の動向につき、町はどのように認識しているのか。

【町長答弁】 国は主食用米の消費量は毎年8万トンずつ減ると予測している。米の消費が減る中で、平成26年産米の販売価格は一万円前後で推移しており、価格上昇の目処は立っていない。これを受け、国、農業者が積み立てをした「ナラシ対策」への加入を勧められている。下落した差額の9割が補填される。今後は市場動向を注視しながら、必要な対策

は実施していきたい。

【質問3】

田子町地域農業再生協議会の活動をお聞かせください。

【町長答弁】

主に、水田を活用した転作の確認、国からの交付金の充当等をしている。にんにく等の野菜の水田活用を図るという大きな問題にも取り組んでいる。

【質問4】

さらなる助成は考えていないのか。

【町長答弁】

国が創設した「稲作農業の体質強化緊急対策」への加入を集荷業者と共に進め、市場動向、気象等を注視しながら、必要な対策は実施していきたい。

医師問題

【質問1】

県・三戸町との協議

はどのように進んでいるのか。

【町長答弁】

3月・4月・5月と3回、会議を開催している。ブロック医療体制については、実は自身がまだない状況である。知事にも田子の現状を伝え、医療確保の可能性を見出したい。

【質問2】

町独自に医師確保に動いているのか。

【町長答弁】

我々も、国、県を当てにしないで、体制を作りたいと思いい、別の方向で手を打ちつつある。しかし現状では、容易く成せることではないことをご理解願いたい。県、三戸病院共に地域の医療体制をしっかりとしたものとして、確立しなければならぬと思っ

アンテナショップ

【質問1】

開設に向けての現状をお知らせ願います。

【町長答弁】

全国商工会連合会が実施する事業で、5月13日の二次締切に申し込み採択された。補助額5002万7千円の交付決定もされ、商工会内に運営委員会を設け指導している。

【質問2】

資金を商工会に貸すということだが、返済はどのようになされるのか。

【町長答弁】

交付金は年度内に入金される予定のため、貸し出しを必要としないう想定である。しかし、一時的に必要な場合は、契約締結のうえ、貸すこととなる。立ち上げから運営まで補助金でまかなえることから、交付金の入金後、速や

観光協会

かに返済していただけることで担保されると考えている。

【質問1】

今年度の企画はできあがっているのか。

【町長答弁】

町外への情報発信の強化、おすすめ観光スポットの指定、協会のホームページ開設等、町外からの訪問を増やそうような情報提供に力を入れた。

【質問2】

1名配置の効用を説明してもらいたい。

【町長答弁】

イベントコーディネーターの経験、知識を生かしながら、町行政と観光協会が連携をはかり、町外の人が田子を訪れる機会を創出し、交流人口の拡大に努めて参りたい。



9番 山崎美代志 議員

町の人口減少対策

【質問1】

今後、町の人口推移の見通しと人口減少対策は。

企業・事業の誘致、新規事業展開への支援、既存の農林商工業などの事業経営の改善のための支援、新規卒業者に対する雇用奨励金の交付などを実施し、働く場の確保に努めたい。
また、若者世帯等に対する家賃や保育料の一部助成、子ども医療費の無料化及び通勤費用の一部助成などを実施し、町内への移住・定住を推進し、人口減

生活環境

【質問1】

安全で快適な生活環境を考えた場合、十分な箇所が多いように思うが、その認識は。

【町長答弁】

少・流出の幅を小さくするような政策、施策に取り組み。

医療・福祉

【質問1】

町の医療関係予算の削減・抑制対策は。

【町長答弁】

発症・重症化予防やムダな医療費の削減等を通じた医療費抑制に力点を移し、生活習慣病の予防や、がんの早期発見・早期治療の一次・二次予防に重点的に取り組み、医療費の抑制につなげたい。

農業政策

【質問1】

道路維持管理事業は、これで十分とは考えていない。今後、緊急に実施しなければならぬ箇所は、補正予算等で対応する。

【町長答弁】

合併は、今後、広域的な経営体制の理解が必要である。
町としての農業政策

をしつかりと持ち、持続可能で競争力と魅力にあふれた農業とすべく方向転換を図る必要がある。

また、森林は町にとって重要な資源、財産であり、後世に引き継ぐべき大切なバトンでもあることから、山の育成管理も、町民に対し意識の啓蒙を図っていききたい。

田子牛の増頭に対しては補助対象とし、田子牛の産地化に向けた取り組みについて、見直し等も含め実施して参りたい。

【質問4】

「にんにくオリジナル種子増殖事業」の今後の見通しは。

【町長答弁】

平成29年秋植付分から種子を配布できるよう、生産者の意見を聞きながら供給体制を検討する。

商業・観光

【質問1】

商業振興及び観光振興の今年度の特徴は。

【町長答弁】

今年度は「フェザン通り街並み検討委員会」と連携し、イルミネーション等を活用したイベントを開催する。
観光振興事業における交流人口の増大は共通目標であると認識し、さまざまな施策を実施・成功させるために、官民が一体となり充実に図っていききたい。

【質問3】

「田子牛産地形成事業」における増頭の見通しは。

【町長答弁】

【質問5】

「安心・クリーン米対策事業」と、米価下落の町独自の対応策は。

【町長答弁】

「種もみ助成」と「カラムシ防除対策助成」の二つの事業を実施している。米価下落の対応は米価の市場動向や気象状況なども注視しながら、必要である対策を講ずる。

議員活動報告

議員はそれぞれ、総務・文教常任委員会と産業・民生常任委員会の2つの常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会に所属して活動し、町政に活かすため、研修会の参加や先進地の視察も行っております。

協議

○実施日 6月15日

6月15日開会の平成27年第2回例会の議事日程について協議した。

議会広報編集委員会

○実施日 5月11日

発行日程及び役割分担について協議を行った。
また、6月定例会以降にレイアウト等について協議を行うこととした。

事務事業調査

○実施日 6月8日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【教育課関係】

田子中学校グラウンド整備は、予算の縮小及び芝生から飛散の少ない混合土に工事内容を変更。

各小学校の改修工事、給食センターの配食車更新、エアコン設置工事は順次進めるとのこと。

委員会からは、田子中学校入口表示看板の早期設置を要望した。

【総務課関係】

自主防災組織は現在10団体。消防自動車に搭載の受令器は、10月以降に更新する。

長沢地区に防火水槽1基、七日市地区に消火栓2基、柴倉地区に

パンザマストを整備する予定。

職員採用は、上級職2名程度を募集する。

【住民課関係】

29年度で防犯灯のLED化完了予定。

委員会から、コミュニケーションバスの業務委託会社に、運転マナーについて注意啓発を行うよう要望。

【税務課関係】

ふるさと納税が好調。実績は2768件、2958万円、お返しに田子牛が好まれている。

【政策推進課関係】

八戸市が29年に中核都市の移行を目指し、連携中核都市圏について打診を受けている。今までの定住自立圏の発展型。

事務事業調査

○実施日 6月9日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【診療所・老健の運営】

現在、県、三戸病院と、医師確保に向け協議が進められている。また、薬局を院外処方に切り替えるとのこと。

【住民課】

社会福祉関係

学童保育では、田子小学校の一部を分館として設置し、入所希望に応えるとのこと。また、国の緊急支援の交付金が7月から交付される。

【健康増進課】

社会福祉関係

介護職員初任者研

修資格取得支援を今年度も実施する。また、介護者への支援も新規に行う。

【建設課関係】

世紀越えトンネルの具現化につき、必要性、経済効果等を改めて調査委託する。

【産業振興課関係】

にんにくのオリジナル品種の育成につき、野菜研への委託継続と品種登録の説明があった。また、センチュウ対策のため、土壌消毒につき、その有効性を農家の方に理解してもらうよう努めるとのこと。

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 日沢一雄委員
尾形憲男委員 沢口博二委員

総務・文教常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 宇藤大介委員
椛本義見委員 澤口勝委員

産業・民生常任委員会

【構成委員】 沢口博二委員長 日沢一雄副委員長 蹴揚清人委員
欠端則夫委員 山崎美代志委員

常任委員会合同視察研修

3月18日から19日まで、活力あるまちづくりに係る調査研究を目的に、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会合同で視察研修を行いました。総務・文教常任委員会では議会の改革の先進地である北海道福島町を、産業・民生常任委員会ではニラ栽培の先進地である北海道尻内町を視察しました。

福島町

議会改革

○政務調査費の

実施状況

北海道の最南端に位置し、北は秀峰大千軒岳、南は津軽海峡に面する自然豊かな町。日本一のスルメの産地としても知られ、昆布、アワビ、ヒラメの養殖、マグロの一本釣りなど、漁業の盛んな町でもある。

また、北海道初の横綱、千代の山、千代の富士の出身地でもあり、両横綱記念館は観光名所になっている。

○政策立案、

審議能力の向上

一般質問は議会の最も重要な、町に対する政策

福島町議会では平成19年から実施。以前は議員に主体性がなく、行政視察の内容は事務局が決められていた。この事を反省し、議員自らの判断で調査をするため政務調査活動費を認める事になった。全国でも一番厳しい規定を設けており、支給額は月額5千円、年額6万円で、何人かで一緒に視察に行っている。視察後は議員全員に呼びかけ、報告会を必ず実施し、活動費の内容は議会のホームページで領収書1円から添付し、報告書と併せて掲載している。

重要な、町に対する政策提言の場である。福島町議会では、議会の意見が町の政策に反映されるよう、質問事項を所管の常任委員会ごとに分けて調査、検討し、行政側に提言している。一般質問以外でも、重要案件等がある場合、計画の早い段階から議員も関わり、積極的に所管調査、検討を行い、行政側から副町長と担当課長、議会側から正副議長と常任委員長が同席する中で提言書を町長に手渡し、翌年にその実施状況についても、行政側と検討会を行っている。

知内町

ニラ栽培

○ニラ栽培の経緯

北海道の南端、渡島半島の南西に位置する、目の前に津軽海峡が広がる背後には山が連なる自然豊かな町で、演歌歌手の北島三郎の出身地としても知られている。

人口5千人、町面積の80%が山林で、気象状況も我が町と似ており、高収益作物の栽培を全町規模で推進してきた。その結果、ニラ、ほうれん草、トマト、ミツバなどの生産が安定し、特にニラ栽培は10億円を達成するブランド野菜として定着している。

○農家視察

水稲や酪農が盛んだっが、国の減反政策によって農作物の転換を迫られ、8戸の農家がニラの試験栽培に着手。素人同然だったが試行錯誤の末、昭和50年に函館市場へ初出荷。寒い地域での栽培によりアミノ酸が多く含まれて甘く、葉が肉厚で色が濃いなど市場の高い評価を受けるようになった。昭和63年には第17回日本農業賞「銀賞」を受賞。ビニールハウス導入への助成や、野菜貯蔵、出荷施設の建設、町の農産物のPR活動の実施

等、行政も本格的な支援を行い通年での出荷を可能にした。平成20年ころには農家数71戸で栽培面積29ha、現在まで年間10億円の売り上げ高をキープしている。

生産組合長、町担当職員、JA職員から説明をいただいた後、ニラ農家の野口さんのハウスを視察した。冬場も収穫するということが、ハウスは簡素で無加温。除雪機は完備されていた。ニラ栽培単独で年間5千万円以上の売り上げがあるとのお話に驚いた。



視察をして

多くの改革事例がありました。住民からの付託を受けた議員の意見が緻密にも反映される仕組みについて参考にすべき、有意義な研修であったと思います。



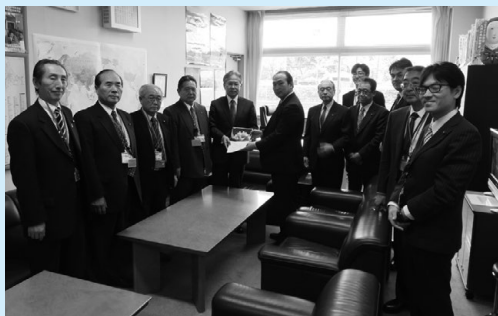
視察をして

知内町のニラ栽培は、担い手の高齢化も進む中、軽作業で、安定した農家の所得があり、40年間、栽培の中で連作障害に悩まされていないという組合長のお話に感動しました。非常に有意義な視察であり、今後農家の皆様にも情報を提供してまいりたいと考えています。

バイパスルート早期建設に 向けた国会要望活動

2月6日、山本町長と議員10名が国会にて、青森県選出国會議員と秋田県選出国會議員の方には要望書を直接手渡し、内容を説明し、国道104号バイパスルート建設の早期着工を訴えました。田子町夏坂と国道103号鹿角市大湯間のバイパスルート建設について、田子町夏坂と鹿角市大湯間のバイパスルート建設の早期着工に向けて、活動を推し進めて参りました。

要望書には、バイパスルートの必要性や現在の道路状況、活動の経緯等が記載されてお



医師確保に係る 県知事要望活動

専門医の応援をいただき、地域医療の確保に努めています。

県より派遣の医師及び町採用医師も平成26年度末の退職となっているため、町民への保健医療サービス等の維持に常勤医師1名の派遣を要望するものです。

県からは、田子町と三戸町あわせて5名の自治医科大学卒業医師の派遣を考えており、配置の内訳は両町で協議していただきたいとのことでした。

今後も、医師確保について最大の努力が必要と感じ帰路につきま

2月20日、山本町長と澤口議長、産業・民生常任委員会委員以下総員8名で、県庁にて三村申吾知事と、青森県立中央病院の山田裕病院局長に医師確保の要望をしました。

現在、田子診療所は県派遣医師1名及び町採用医師1名の常勤医師2名体制で、外来診療、訪問診療、学校診療、特定健診及び職場健診の受け入れなど、



編集後記

4月の改選期を経て新人2人含む10人の新議員が誕生しました。

6月の臨時議会では、議長をはじめとする議会構成を決め、今後4年間の田子町の議員活動に取り組んで参ります。

今号では合併号として、3月定例会と6月定例会の報告、一般質問で、ほとんどのページ構成になってしまいました。

広報委員会も新構成となり、皆様に親しまれ、読まれるような議会だよりを目指したいと思えます。なにとぞ、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(宮村)

議会広報編集委員会

(83号84号合併号)

委員長 宮村 尚哉
副委員長 宇藤 大介
委員 日沢 一雄
尾形 憲男
沢口 博二

執筆協力 欠端 則夫
山崎 美代志

議会の新しい体制が決まる

4月26日に町議会議員一般選挙が行われ、10人の議員が選出されました。
任期は平成27年5月30日から平成31年5月29日までです。



議長

10番 澤口 勝

(66歳・9期・遠瀬)

- ・青森県町村議会議長会会長
- ・総務・文教常任委員会 ほか



副議長

1番 宇藤 大介

(43歳・4期・野々上)

- ・総務・文教常任委員会
- ・議会運営（広報）委員会
副委員長 ほか



2番 蹴揚 清人

(70歳・5期・北側)

- ・産業・民生常任委員会
- ・三戸地区環境整備事務組合議員
- ・三戸地区塵芥処理事務組合議員
ほか



3番 日沢 一雄

(71歳・4期・山口)

- ・監査委員
- ・産業・民生常任委員会副委員長
- ・議会運営（広報）委員会 ほか



4番 椛本 義見

(63歳・4期・野々上)

- ・総務・文教常任委員会
- ・田子高原広域事務組合議会議員
- ・二戸市・田子町道路組合議員
ほか



5番 尾形 憲男

(44歳・3期・清水頭)

- ・総務・文教常任委員会委員長
- ・議会運営（広報）委員会
- ・三戸地区環境整備事務組合議員
ほか



6番 宮村 尚哉

(44歳・2期・矢田郎)

- ・議会運営（広報）委員会委員長
- ・総務・文教常任委員会副委員長
ほか



7番 沢口 博二

(59歳・2期・下本町)

- ・産業・民生常任委員会委員長
- ・議会運営（広報）委員会
- ・八戸地域広域市町村圏事務組合
議会議員 ほか



8番 欠端 則夫

(61歳・1期・大王)

- ・産業・民生常任委員会
- ・三戸地区塵芥処理事務組合議員
ほか



9番 山崎 美代志

(59歳・1期・新田)

- ・産業・民生常任委員会
- ・田子高原広域事務組合議会議員
ほか